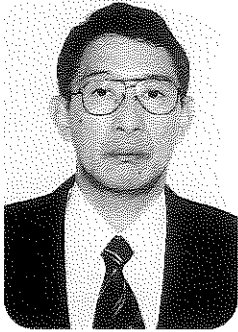


信頼される学校づくりを



栃木県中学校長会
会長 山市 隆

現在ほど教育が国の大きな問題として取り上げられ、国民の関心を呼んでいる時代、見方を変えれば、教育に対する期待が高まっている時代は、我々が教職に就いてからなかったのではないかと思います。学校教育に対する期待は、裏を返せば学校を見つめる目の厳しさであり、学校だから、先生だからと言って、許されるものは何一つないと言うことです。従って我々は、決して現状に甘んじることなく、問題点や課題を真摯に受け止め、常に工夫・改善に努め、保護者や地域の方々が、学校への信頼をより一層深め、「通わせてよかった」と思われるような学校にしていかなければなりません。また、それが我々校長の最大の責務でもあります。

保護者や地域の方々から、一層の信頼を得「通わせてよかった」と思われる学校にするために、我々一人一人が、「地域や学校の実態に即した学校経営」を推進して行くことは勿論のことではありますが、県の校長会、市町の校長会等「組織が一体となった経営」も強く望まれるところです。保護者や地域の方々

から、信頼を得るために校長会が果たす役割、つまり「校長会が一体となった経営」を推進するにあたって大切なことが2つあるのではないかと考えております。

ひとつが「切磋琢磨」であります。お互いが長い経験で築いてきた知恵や、学校経営のノウハウなどの様々な情報を出し合って、それぞれの学校経営に生かし、皆で一歩でも前進していくことが大切です。168校が切磋琢磨し、知恵を出し合い互いに共有財産を膨らませていったら、こんな力強いことはありません。

もうひとつが、行政と一体となった会の運営であります。行政が抱えている課題の解決に同じ考えで当たり、県や市町が掲げている様々な教育施策の具現化を、共通の認識に立って図っていったりすることです。そうすることが、どこの学校に通わせても同じ質の教育が受けられるという、公教育の責任を果たしていくことになり、それが「学校への信頼」となっていくのではないかと思います。

切磋琢磨によってそれぞれの学校が、一歩でも前進すること、学校と県や市・町が一体となった教育を推進し、公教育としての責任を果たすこと、これらのことによって、保護者、地域から信頼される学校になるものと確信いたしております。

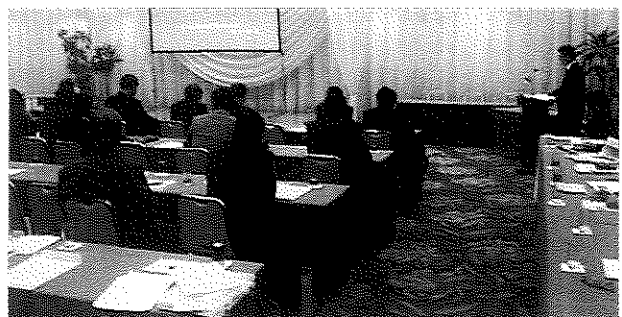
(宇都宮市立一条中学校長)

事務局だより

平成19年5月17日(木)に県中学校長会総会が理事・代議員をもって開催されました。代議員制をとって3年目に入り、スムーズな運営となりました。代議員の皆様に感謝申し上げます。

校長会として、昨年度から試行されている教員評価等、校長に課せられた時間の激増に伴い、本年度から、総会後の懇親会をなくしました。懇親会を楽しみにしていた諸先輩方も多数あろうかと思っておりますが、ご理解をいただきたいと思っております。

研修会では、関地区長野大会への提案として「確かな勤労観・職業観を身につけさせる進路指導」について芳賀地区校長会から発表がありました。



プレゼンテーション模様

専門部活動計画

<p>総務部 部長 江面 一雄 宇・河内中</p>	<p>第1回 平成19年6月12日(火) とちぎ青少年センター 県教育委員会との懇談会における提案事項の検討 県中学校長会の全会員の意見として集約、懇談会は8月10日に実施 第2回 平成19年10月16日(火) 栃木県教育会館を予定 平成20年度運営方針の策定 多忙の折、文書及びメールのやりとりによる策定も視野にあり</p>
<p>研修部 部長 神長 利光 宇・姿川中</p>	<p>1 研究主題 「未来を切り拓く心豊かでたくましい日本人を育てる中学校教育」 2 事業計画 ・第29回栃木県中学校長会研究大会（9月11日(火)） ・栃木県中学校長会研修会（11月30日(金)） ・研究集録の作成（12月配布予定） ・平成20年度研究主題及び重点研究課題の検討 ・関東地区中学校長会研究大会（栃木大会（平成22年））における「研究協議題設定の趣旨と研究の視点」の作成</p>
<p>広報部 部長 小谷 和弘 宇・星が丘中</p>	<p>○ 発行予定と主な内容 ・107号（平成19年9月発行） 会長挨拶、事務局日より、専門部活動計画、私の学校経営、新任校長の一言、トピックス（県教委指定研究学校等、全日中校長会編集「中学校」の内容紹介） ・108号（平成20年2月発行） 特集「中学校長への期待」、県教委との協議、県教委・県立高校との懇談会、各地区校長会日より、特色ある教育等、事務局より</p>
<p>生徒指導部 部長 富田 治夫 佐・田沼東中</p>	<p>1 県教委「本年度の重点課題」の解決に取り組む。 「いじめ」の根絶を目指した予防的な取り組みと組織的な対応の強化策について (1) 各地区において創意工夫あるいじめ撲滅を呼びかける。 (2) 各地区で事例等の発表・研究を進める。 (3) 各地区で資料・情報等の交換をする。 2 第1回部会研修会 平成19年10月16日(火) 栃木県教育会館</p>
<p>進路対策部 部長 池澤 勤 小・小山城南中</p>	<p>1 研修テーマ 「中学校進路指導の適正な推進と高校入試等改善の提言」 2 組織 部長 池澤 勤（小・小山城南中） 副部長 藤澤 榮子（宇・横川中） 飯塚 克己（南那・烏山中） 3 事業計画 ・県立高校入試に関する県内11地区の今年度の要望調査（7/5～8/5） ・県理事会への提案（9/11） ・「県立高校・県教委との懇談会」についての協議・打合せ（9/18） ・「県立高校長・県教委・中学校長との懇談会」（10/22県教委会館）</p>
<p>修学旅行部 部長 鈴木 希一 宇・雀宮中</p>	<p>○ 関東地区公立中学校修学旅行委員会総会（東京） ○ 関東地区公立中学校修学旅行委員会研究協議会（年4回） ○ 県中学校長会修学旅行部会研修会（教育会館） ○ 平成21年度修学旅行輸送申し込み 修学旅行実施状況報告書の取まとめ ○ 茨城・栃木県合同修学旅行研究協議会（ホテルレイクビュー水戸） ○ 第43回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会（さいたま市） ○ 「平成21年度修学旅行新幹線輸送計画表」配布</p>

〔私の学校経営〕

さくら市立喜連川中学校長 松井 洋三
本校は、文部科学省より『学力向上拠点形成事業』（確かな学力育成のための実践研究事業）の指定を受け、研究に取り組んでいるところです。
学力向上を図るためにも、生徒が主体的に生き生き活動する姿が見える学校でありたいと「キラキラ輝く喜中」を教育目標の基盤に掲げました。一人ひとりが輝けば、クラスが輝き、そして、学校全体が輝くだろうと考えたからです。
クラス対抗で行なう学校行事を中心に生徒の主体性を育成しようとしてきました。「合唱コンクール」「体育祭」「長距離走大会」です。それぞれねらいは違っていますが、いずれも生徒が中心となり、つくりあげていく行事です。生徒はこれらの取り組みの中で協調し、助け合いながらクラスの団結を育んでおります。
教職員は分かる授業を目指して、教育事務所の先生方や宇大の准教授をお招きして、授業力向上に努めています。生徒の主体性と教師の意欲とが両輪となり、一等星のように大きく輝く学校になればと思っています。

〔新任校長の一言〕

上三川町立明治中学校長 富田 恒男
12年ぶりの学校現場、20数年ぶりの中学校生活、そして今まで一度も勤務したことのない地域への着任という状況の中、どうにかソフトランディングできたかなと、4月からの日々を振り返っているところです。
この間、先輩校長先生をはじめ様々な方々から、ご支援をいただき、大変感謝しています。陰日向なく、誠実に勤務する大切さを痛感させられた月日でした。
中学校は行事の連続で、入学式を皮切りに、生徒総会・運動会・修学旅行・キャンプ等が目白押しで、各学年スタッフは着実にこなしてくれています。
そんな中で、現在は職員に組織の一員としての自覚の高揚と学校という組織全体の機能アップに取り組んでおり、常に「校務分掌上は…」 「スタッフ全体の意見は…」と確認しています。最終的には、担当者からの提案を待つ姿から、スタッフが互いに意見交換し、実践していく姿へシフトさせたいと考えています。
そのためにも、学年・学級・経歴等の垣根を少しでも低くした風通しのよい職場づくりに心がけ、職員の誰もが、自分の考えやアイディアを自由に口に出せる環境を整えていく事が自分の責務と考えています。
そのためにも、日々「語る口より、聞く耳を持つ」ように心がけているつもりです。

鹿沼市立板荷中学校長 堀田 雅男
鹿沼市の最北端、日光市と隣接した鹿沼市立板荷中学校に新任校長として着任しました。
板荷中学校は、東西北を林に囲まれ、南に水田の広がる、鹿沼市で唯一隣接民家のない学校です。
学校の西を流れる用水堀には山女魚が泳ぎ、夜は源氏螢が乱舞します。市街地の喧騒からはほど遠い、自然環境豊かな地域で、全校68名の生徒達は、勉強や部活動、生徒会活動や奉仕活動などに明るくのびのびと取り組んでいます。
そんな恵まれた環境の学校ですが、新任校長として、生徒、職員、施設管理の責任者としての重責を改めて実感し、身内の引き締まる思いで4ヶ月を過ごしました。また、学校経営方針の職員や地域への説明、入学式式辞、各種会合のあいさつなど、緊張の連続の一学期でした。
特に、経営方針の中核として、「生徒の心身ともに安全で安心な学校生活の保障」を謳ってきました。事故や怪我の予防や適切な対応などの身体的な安全確保、そして、いじめの予防ときめ細かな指導などの心の安全安心確保については、特に教職員に徹底するよう努めました。
この基盤の上に確かな学力や地域に開かれた特色ある学校づくりを謳いました。
まもなく、長い2学期が始まりますが、これからが学校経営の正念場であると考えています。先輩校長諸氏の御指導を仰ぎながら、新米校長としてなんとか1年を乗り切りたいと思いますので、御指導・御助言等いただければ幸いです。

茂木町立逆川中学校長 岩崎 俊
茂木町の南部、八溝山地に囲まれた逆川中学校に着任してから早くも4か月が過ぎました。この間、何もわからずに戸惑いばかり感じておりましたが、幸いにも先輩の校長先生をはじめ多くの方々から励ましやアドバイスをいただき、責任の重さを痛感しながらも、少しは自信を持って学校経営に取り組んでいるところです。
本校は、生徒数82名の小規模校ですが、明るく元気で素直な生徒、熱い教育愛を持った教師、さらに何事にも協力的な保護者、地域の方々に恵まれ、学習や運動はもちろん諸教育活動に積極的に取り組み、成果を上げているところです。
さて、小規模校の学校では、生徒一人一人に教師の目が行き届き、それぞれの良さを見つけ、伸ばせるという強みを持っていると思います。この強みを今後の学校経営に生かせるよう配慮していきたいと考えています。そのために、教職員がそれぞれの専門性を生かして教育活動に取り組めるよう環境を整えていきたいと考えています。また、生徒一人一人が、それぞれの個性や存在感を発揮しながら、生き生きと活動できるように努めたいと思っています。
まだ4か月を過ぎたばかりの新米校長ですが、これからは、先輩の校長先生方からのご指導等をいただきながら、自分なりの創意や工夫を加えて、地域の特色を生かしながら学校経営をすすめていきたいと考えています。

トピックス

県教委指定研究学校等から — 中学校関係抜粋 —

文部科学省関係

No.	研究領域	地区	指定校名	指定年度
1	学力向上拠点形成事業	河内	宇都宮市立一条中学校	H17~19
2		上都賀	鹿沼市立栗野中学校	
3		芳賀	芳賀町立芳賀中学校	
4		下都賀	小山市立豊田中学校	
5		塩谷	さくら市立喜連川中学校	
6		那須	大田原市立川西中学校	
7		南那須	那須烏山市立烏山中学校	
8		安足	佐野市立赤見中学校	
9	高等学校・中学校「人間としての在り方生き方を考える教育」実践研究事業	上都賀	日光市立東原中学校	H19・20
10	豊かな体験活動推進事業 (仲間と学ぶ宿泊体験教室)	河内	上三川町立明治中学校	H18・19
11		上都賀	鹿沼市立北犬飼中学校	
12		安足	佐野市立城東中学校	
13	(地域間交流)	那須	那須町立高久中学校	H19・20

国立教育政策研究所関係

No.	研究領域	地区	指定校名	指定年度
1	我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業	下都賀	都賀町立都賀中学校	H18・19

研究開発学校

No.	研究領域	地区	指定校名	指定年度
1	研究開発学校	下都賀	栃木市立皆川中学校	H17~19

「中学校」 年間テーマ『未来を拓く学校づくり』 (全日中機関誌掲載予定)

月	特集主題	主な内容
9	健全育成を考える	①教員の資質向上と生徒指導 ②いじめ・不登校-問題改善の視点 ③虐待と生徒指導
10	役員研修会特集	
11	新教育課程への対応	①教育課程改善の視点 ②新しい教育課程編成 ③特色ある教育を生み出す教育課程
12	学校評価	①学校評価の活用 ②教員評価の在り方 ③外部評価の成果
1	研究協議会東京大会特集	
2	新たな学びの視点	①コミュニケーション能力と学び ②人間力と確かな学力 ③一貫教育における中学校の在り方
3	学校経営と地域	①地域の教育力を生かす教育システム ②学区域の弾力化 ③部活動について

平成19年度からの新シリーズ「中学生と日本の伝統文化」